

1. 校種 高等学校

2. 対象生徒 第3学年

3. 教科・科目 公民科・政治経済

4. 単元 経済社会の変容と現代経済の仕組み

5. 単元の指導計画

第一次 資本主義経済の発展と社会主義の変容… (2時間)

第二次 経済主体と経済活動…………… (3時間)

第三次 市場経済の機能の限界…………… (2時間)

第四次 経済成長と景気変動…………… (3時間)

第五次 財政のしくみとはたらき…………… (4時間)

1時 財政の役割 (本時)

2時 日本の財政

3時 租税と税制の課題

4時 公債と国民生活

第六次 資金の循環と金融機関のはたらき…………… (4時間)

第七次 インフレーションと物価の動き…………… (3時間)

第八次 日本経済の特質と福祉の向上…………… (4時間)

6. 本時の学習

(1) 題 目 財政のしくみと働き

(2) ねらい

・財政によって、資源配分の調整、所得再分配、経済安定化が図られていることに気付き、その知識を身に付けている。【知識・理解】

(3) I T教材を使う意図

政治経済は、法や政治、経済といった多様な学問分野を包含し、理論的な内容が多い。また、現実には起こっている問題とも関連が深く、社会の実相を理解しやすい科目でもある。しかし、授業を進めていく中では、入試対策のために理論の学習一辺倒になったり、社会問題を考えるあまり現実の現象を捉えるだけの学習になったりというように、どちらか一方だけの内容になってしまうことがある。また、理論的内容の学習は、単調な講義形式に陥りやすい。そこで、I T教材を活用し、様々な資料提示などを行うことによって、単調な理論的内容の学習に変化をつけ、理論と現実の問題とをうまく結びつけ、生徒が気づき、考えて、理解していく授業ができるのではないかと考えた。

(4) 使用ソフト Microsoft 社 PowerPoint2002 Excel2002

(5) 展開

時間	学習過程	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
5分 導入	1 前時までの復習と本時の内容の確認	○前時までの学習内容を思い出す ○本時の学習のポイントを知る	・発問を通して、前時までの学習内容を確認させる ・発問により「財政」という言葉を引き出す	
35分 展開	2 財政とは 3 財政の役割 資源配分の調整機能 所得再分配の機能 景気の安定化	○財政とは何か理解する ○ワークシートを記入する ○公共サービス・施設にはどのようなものがあるかを考える ○財政が、資源配分の調整機能を持っていることを理解する ○ワークシートを記入する ○累進課税と社会保障制度によって、所得格差が是正されていることを理解する ○ワークシートを記入する ○財政は、ビルト・イン・スタビライザーとフィスカル・ポリシーという二つにより、景気を安定化する機能があることを理解する ○この二つの機能が働くと、不況の時や好況の時、財政状態はどのようになるか考える。 ○ワークシートを記入する	・画面に提示しながら説明する ・公共サービス・施設にはどのようなものがあるか質問する ・生徒が答えたものをいくつか画面に示す ・生徒からあがってきた公共サービス・施設から、資源配分の調整とはどういうことかを考えさせる ・もし私企業が有料で提供するとどうなるかと考えてみるように指示する ・累進課税制度についてその仕組みや変遷を画面に提示しながら説明する ・ビルト・イン・スタビライザーとフィスカル・ポリシーについて、その仕組みを、画面に提示しながら説明する ・ケインズの唱えた有効需要管理政策について簡単に説明する。 ・財政状況はどのようになるか考えさせる	財政には3つの機能があることを、それぞれの中身について考えつつ理解している【知識・理解】 (ワークシート)
10分 まとめ	4 本時の学習のまとめと次時の予告	○本時の学習内容を、まとめる。 ○次時の学習内容について理解する	・本時の学習内容を確認する。 ・日本の財政状況を紹介し、次時は、なぜ財政赤字になっているのか考えていくことを示す	

(6) PPTファイル参照